昭和42年(1967年) ▼大寒。(黄経三百度、寒気がま やぶ入り。(以前は商店などに 成人の日。 元へ帰る年二回のうちの一日で さく割って、おしるとに入れて 初荷。初夢。 七章かゆ た。 奉公している小僧さんたちが親 それどころか鏡もちさえ作らな ど忘れられようとしています。 鏡開き。蔵開き。(鏡もちを小 立春までを寒中といい、寒さが 「「月の広報ごよみ」 すますきび ぐなりました。) 食べる風習は都会地ではほとん 身にしみてきます。)(6日) なさらぬよう) そ気げんでの車の運転は絶対に 小中学校の始業。 小寒。(この日から)一月四日の 元日。初もうで。年賀。(おと 旨庁ご用始め。 月 B 編集 総務部秘書課 い時季。)(21日) 発行人 石井 繁丸 印刷所 上毛新聞社 16日 15日 (9日) 7日 (2日) (4日) (1部金4円)

謹賀新年

1967 - 明けゆく前

As 369号

第3種郵便物認可 昭和35年7月14日

毎月1日・15日発行

任をもって慎重審議を重ねる所存 けるべく市議会は来たるべき四十 新市建設計画も あり、新しい町 都として、その成長発展は誠にめ 申し上げます。 計画二十一億四千四百万円に 前期の好成績におとらぬ成果を上 か年目に入り一一二・六%という 本年はその最終期としての後期五 大の成果を上げつつあります。 ご協力により多 がたの絶大なる ごましいものが みなさんのご多幸を心からお祈り りです。 した計画も、現 る最終年の総仕上げとして鋭意音 市民のみなさん つくりとしての みなさんとともに寿ぎ、あわせて 進する本市の発展を二十万市民の 精々頑張りご期待に答えたいつも めでとうございます。 パスの三大計画が軌道に乗る年で 五%程上廻った進捗率で大体この 一年度予算案の審議について後期 る段階に達する年でありますので 市の大計画が皆様にご批判を頂け 前橋、十七号国道北口、南部バイ 計画が全貌を現わします。また新 画が終りいよいよ東部・西部都市 線で最後を飾りたいと思います。 在まで予定を三 初絵に書いた餅 三年度より初められました新市建 順潮に仕事が運びました。 中水源地建設、養護学校の設立等 この計画は調子 設十か年計画の仕上げの年であり よく進められ当 ます。幸いにも 今や前橋市は人口二十万余の雄 住宅団地、群大総合大学用地、野 事業を手がけましたが、幸に広瀬 昭和四十二年の新春にあたり躍 なお前橋市民の皆様が近代都市 ていますし、東日本では初めての 本年は中央並びに県庁前都市計 市民のみなさん、あけましてお 本年は市にとりまして昭和三千 昨年はいろいろ市において新規 本年が 皆様に 幸福の年であり よう心からお祈り申し上げま 決意を新たに市政を推進 拠 に対す 点 則橋市議会議長 帯を擁する広瀬住宅団地の造成も 策が促進せられて、多大の成果を 努力が傾注せられ、また、二千世 養護学校、学校給食共同調理場の 活を満たすべき教育・民生・消防 と、東部・西部に加えて南部環状 て諸施策が遂行せられ、特に都市 りなお東部公園内に日本でも珍し ますが、歩道陸橋等を出来得る限 祉センター建設についてもさらに 諸施設の整備充実が促進せられ、 であります。昨年は地方財政の危 い交通公園を作りたい所存です。 施設の充実が図られる他、老人福 完成、類似都市に例をみない保育 線街路事業も円滑に進捗いたすと 改造事業において中央地区の完成 上げつつあります。また、市民生 共に農業基盤整備、構造改善事業 極の中にあって創意と工夫をもっ り取り上げ交通禍より歩行者を守 に現代の社会的共通の悩みであり です。 歩が見られると確信している次第 住宅対策は本年において格段の進 市営広瀬団地の活用等により市の 都 と思っています。 る等致し、昨年より余計作りたい うな仕事は本年もやはり意整的に 省に呼びかけ市議会に協力を求め ない前橋としたいつもりです。 やり、大体旧市内はゴム長が要ら やって行くつもりです。 の市民として生活を享受出来るよ これは建設省でも大変力を入れ 交通災害対策は青少年問題と共 前橋市長 県の住宅建設、県営大利根団地 又市営住宅厚生住宅等は、建設 たとえば道路の舗装等は大いに 市 前 斎 石 橋 藤 井 0 考えます。市議会としては地方自 堪えぬところでありますが、本市 展いたしております。 治体の財政確立如何が市民生活をいさつといたします。 源確保に努力を払われば ご期待に添えるよう発展するため が生産都市して市民のみ 市民の福祉が逐年向上と 市開発のための諸施策が 策の促進に鋭意努力が対 活気ある産業都市づくりのために さらに近代消防の確立の上からも には、今後一層の施策の工夫と財 が図られ、他面清潔にして健康な 東分署の建設と科学的装備の強化 円滑なる進捗を示しております。 期だと思います。したがって前橋 市政はこの時代の動きと 立されつつありますが、 導の下に上武百万都市 一段と清掃機能を強化し 構想は充分取り入れるつもりです の建設です。目下、丹下博士の指 るつもりであります。 立て、私の任期の内に軌道に乗せ 建 にはいり、今後十か年がその激動 ながら今後十か年にわ ばならないのでありま 望の下に計画的に進められなけれ 期十か年計画は本年度をもって終 申し上げます。 が、予算編成の上広報等でご報告 施設でありますので、 要 りますが、今後の市政は、長期展 があると思います。 ろん県外からも相当多 又日本は第二次技術革新の時代 その大様心構えは拠点都市前橋 繁 その他いろいろ計画があります さきほど申し上げましたが、前 設 吉 九 このように になさんの 」増進をみ す。しかしに不信を持たれるような点は毫末 一数の利用者 ならぬと 着々と進 われて都 レスライド シ計画が樹 たる計画を 県内はもち 、産業政 しいいの Rest -んの一層のご理解とご支援を切に 意を新たにして、市政にとりくむ お願い申し上げまして新年のごあ 所存でありますので市民のみなさ く市政に反映させるべく研鑽と決 会は市民のみなさんの声をより強 たさねばならぬと考えます。市議 の伸展に任期最後の努力を傾注い 財政の確立強化のための運動が強 地方自治体の各種行政需要に対応 力に展開せられております。こう せられるよう要望すると共に地方 するための自主財源の強化と地域 鑑み、全国市議会議長会を通じて いて政府の予算編成において先議 開発促進のための財政措置等につ 左右する基本的課題であることに であります。 げ又市女に当る心構えを皆様にお 願いする次第であります。 を以って市政の糧としてて参るつ 深くした次第であります。 もりでございますからよろしくお えです。 い致しましてご挨拶とする次第誓 注意を加えていただきそれを誠心 心して頂けたと思いますが、皆様 とり入れた市政の計画を立てる考 した市政でなければなりません。 もりです。 年頭に当り抱負の一端を申し上 信頼して頂ける市政を遂行するつ ぜひ市民の皆様から遠慮なくご 最後は姿勢を正し市民の皆様に 昨年の暮は大変ご心配かけまし 前記一点を充分に研究しそれを -の効率的推進を図る おいて我々議会人は 進により、地域開発 と共に町村合併の促 より一層本市諸施策 政収支の多難な中に としてその感を一層 政でなければならな と思います。 もあってはいけない 担当させて頂き市長 い。三朝日の市政を した地方自治体の財 常に信頼される市 THE OWNER WATER OF THE OWNER OWNER OF THE OWNER de .

	第369号(第3種郵便物認可)	広報ま	えばし	昭和42年1日1日 (2)
	93 92 91 90 89 派 于	知橋市谷会 市		昭和42年1月1日 (2)
	・ 一部の 一部の 一部の 一部の 一部の 一部の 一部の 一部の	ます。 定の決合	2千2百万	円の黒字決算
	でには、 一日の にしいては、 一日の にしいては、 一日の にしいては、 一日の にしいては、 一日の にしいては、 一日の にしいては、 一日の にしいては、 一日の にしいては、 一日の にしいては、 一日の にしいては、 一日の にしいては、 一日の にしいては、 一日の にしいては、 一日の にしいては、 一日の にしいては、 一日の にしいては、 一日の にしいて、 一日の にしいて、 一日の にしいて、 一日の にしいて、 一日の にしいて、 一日の にしいて、 一日の にしいて、 一日の にしいて、 一日の にしいて、 一日の にしいて、 一日の 一日の 一日の 一日の 一日の 一日の 一日の 一日の	に 和 第 月 八 一 二 一 、 一 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、		
	1 刻存2 2 2 2 9 图 4 日 0 正記会 1	四主領立は古	2,2424	12月 足内町 献会終わる
	● 「「「「」」 ● 「」」 ● 「」 ● 「」」 ● 「」」 ● 「」」 ● 「」」 ● 「」」 ● 「」」 ● 「」」 ● 「」 ● 「 ● 「」 ● 「」 ● 「」 ● 「」	四十年夏の一であっまし、		a share hits
		予算 「方」 一方 一方 一方 歳 二方 一 二 方 し 歳 二 二 万 一 長 二 一 万 し 歳 二 二 万 一 長 二 一 万 し 歳 二 一 万 し 歳 二 一 万 し 歳 二 一 万 し 歳 二 五 万 二 万 二 5 二 万 二 5 二 万 二 5 二 万 二 5 二 二 5 二 5 二 二 5 二 二 5 二 5 二 二 5 二 5 二 二 5 二 5 二 二 5 二 5 二 二 5 二 5 二 二 5 二 5 二 二 5 二 5 二 二 5 二 二 5 二 5 二 5 二 5 二 5 二 5 二 5 二 5 二 5 二 5 二 5 二 5 二 5 二 5 二 二 5 二 5 二 5 二 5 二 5 二 5 二 5 二 5 二 5 二 5 二 5 二 5 二 5 二 5 二 二 5 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二		the state
	■ ◎ 米玉 し出 条 つ を庁用にく			
	「 したるもの」 した。 した。 した。 した。 した。 した。 した。 した。	はかり、 症 に 努める。 。 低 、 の 公共	に一千度前 であらまし た。あらまし	+四日開会され 十四日開会され この議会 この議会 この議会
	「 この 一部では 一部で 一部で 一部で 一部で 一部で 一部で 一部で 一部で	ととあると の基本的な 出現基営	(歳案で、)にに提出されて、承認されて、 承認されていた。)	れているとよ 、 合明七日 しました。 しました。 武長、副議 業長、副議 業長、副議 業長、副議
			リーして、蔵・を、の	
	「「一」」 「「一」」 「「一」」 「「一」」 「「一」」 「「一」」 「「一」」 「「一」」 「一」 「一	「同一になる」	は、生活環の整備の方法である。③中に、中小企育の方法である。③中に、中小企育の方法である。④中	・ 食肉が して おのでした。 たので、 一年度 一年度 一年度 一年度 一年度 一年度 一年度 一年度
	本文 (京都市) 本文 (京) 本文 (京) 本) 本文 (京) 本文 (京) 本) 本文 (京) 本文 (京) 本) 本文 (京) 本文 (京) 本) 本文 (京) 本文 (京) 本) 本文 (京) 本文 (京) 本) 本文 (京) 本) 本文 (京) 本) 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本	という。 の 学校を新設 でし、前生 の の の の の し 、 明るく住	境関係の施 による中心 による中心 による中心 による中心 が で 業 り 統 で に よる 中心 た の 施 で	~ こういては、、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
				次 6 20 21 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
		ない、 その 「ない、 その 「 た に 、 一 方 に 、 一 う に 、 一 方 に 、 一 う に 、 一 う 一 う に 、 一 う に 、 一 う に 、 一 う に 、 一 う に 、 一 う に 、 一 う の 、 一 う 、 一 、 一 、 一 う 、 一 、 一 、 一 、 、 一 、 一 、 一 う 、 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 一 う 一 、 一 う 一 、 一 う 一 、 一 う 一 、 一 う 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 、 、 、 、 、 、 、	ま七のも市のいたしと	し、経営で一百百万万元をでする「一百万万元」 なりまた。 「百万万元」 なり、経営で、「百万万元」 し、経営で、「百万万元」 し、北方元
	・ 正子度前衛市 市市市市市 市 に と 、 て 、 て 、 て 、 で 、 て 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で	実効をあげたものに	た、首都	一定一王王之志。 一世 で一次 一方
		いるよう、 いるよう、	中街地開発 したいの した した した した した した した した した した	百千万之」では、「「「「「「」」」」、「「」」」、「「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、
<ul> <li>         であります。         <ul> <li>                  への定したいたいであります。                  <ul></ul></li></ul></li></ul>	マイエ事 一 「「」」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」	は労務費、 ともない、 ともない、	出面においていた以下の	
<ul> <li>         であります。         このことは、いずれの地方団を追加したので、頃本的取入は一億一四上たので、頃本の取入が、きわめて自知が定ち、たたったします。         て、満田においても、しだいに財政の運営は苦して、、と言したので、頃本の取入市にあっても、定かに局ができ、またその他の         の変更を余儀なくした場面もあり         このとしば、いずれの地方団         たったしたいであります。         たったしたいであります。         たったしたいであります。         たったったしたいであります。         たったしたいであります。         たったしたいであります。         たったしたいであります。         たったしたいであります。         たったしたいであります。         たったしたができ、またその他の         においても、したいに財政の         重においても、したいに財政の         した。         このしたがって、         て、         このにおいて、年度未近くにたぶ着面もあり         このにおいて、         にたったしたがであり、         す。         このにおいても、したいに財政の         したので、         す。         このにおいても、         したので、         このにおいても、         したので、         このにおいても、         した。         たったったしたがであります。         したので、         て、         このにおいても、         したので、         このにおいても、         したので、         このにおいても、         したので、         このにおいても、         したがら、         て、         においても、         したが、         たったったしたがであります。         したが、         たったったしたがであります。         したが、         たったったしたがであります。         したがで         て、         このにおいても、         したが、         たったったしたがであります。         したが、         たったったしたがであります。         したが、         たったったしたがであり、         す。         このでありますが、         したが、         て、         ことができ、         たったったしたがであります。         したが、         て、         たったったしたがであります。         たったったしたがってあります。         たったったしたがってあります。         て、         て、         たったったしたがであります。         て、         て、         たったったしたがであったり、         て、         て、         たったったしたがっても、         たっのであります。         て、         て、         たったかに         たっのであります。         て、         たがったが、         て、         たがので         たっのであり         て、         て、         て、</li></ul>	中学校 な変 中学校 校 な で 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	支出額は、支出額は、	いては、講師では、「「「「」」」	利益一億百円七、十四日、日間、一日、日間、一日、日間、一日、日間、日間、日間、日間、日間、日間、日間、日間、日間、日間、日間、日間、日間
<ul> <li>         であります。         このことは、いずれの地方団を追加したので、頃本的取入は一億一四上たので、頃本の取入が、きわめて自知が定ち、たたったします。         て、満田においても、しだいに財政の運営は苦して、、と言したので、頃本の取入市にあっても、定かに局ができ、またその他の         の変更を余儀なくした場面もあり         このとしば、いずれの地方団         たったしたいであります。         たったしたいであります。         たったしたいであります。         たったったしたいであります。         たったしたいであります。         たったしたいであります。         たったしたいであります。         たったしたいであります。         たったしたいであります。         たったしたができ、またその他の         においても、したいに財政の         重においても、したいに財政の         した。         このしたがって、         て、         このにおいて、年度未近くにたぶ着面もあり         このにおいて、         にたったしたがであり、         す。         このにおいても、したいに財政の         したので、         す。         このにおいても、         したので、         このにおいても、         したので、         このにおいても、         した。         たったったしたがであります。         したので、         て、         このにおいても、         したので、         このにおいても、         したので、         このにおいても、         したので、         このにおいても、         したがら、         て、         においても、         したが、         たったったしたがであります。         したが、         たったったしたがであります。         したが、         たったったしたがであります。         したがで         て、         このにおいても、         したが、         たったったしたがであります。         したが、         たったったしたがであります。         したが、         たったったしたがであり、         す。         このでありますが、         したが、         て、         ことができ、         たったったしたがであります。         したが、         て、         たったったしたがであります。         たったったしたがってあります。         たったったしたがってあります。         て、         て、         たったったしたがであります。         て、         て、         たったったしたがであったり、         て、         て、         たったったしたがっても、         たっのであります。         て、         て、         たったかに         たっのであります。         て、         たがったが、         て、         たがので         たっのであり         て、         て、         て、</li></ul>		の値上りに	mmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmm	処分額式二方式 一方式二方式 一方式二方式 一方では 一方でする 一方です 一方です 一方でする 一一では 一一でする 一一でも 一でも
	・三めすて を係取を知ったすすかい			日内 ーナと加 面 後差十を費
	減に対した。 ないであっても したいであっても した ない たん かる かかる した ほう した ほう した ほう した ほう した ほう した ほう しん ば しん しん ない たん かる から かん	こたえなけ、住	い恐く行営もしし、	<b>東江なる「三方で」</b> 東方でで、 電気ので、 電気ので、 電気ので、 電気ので、 電気ので、 電気ので、 電気ので、 電気ので、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、
	ことができ」、「ないないない」、「ないないない」、「ないないない」、「ないないない」、「ないないない」、「ないないない」、「ないないない」、「ないないないない」、「ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	ればならな市民都市	の時でなって、 近にいに財政の にいに財政の 地でなった。 しているわれの地でなった。 しているわれるの地でなった。	間によった。 一番により、 ここでは、 四方では、 のたいた に、 一番に、 のたいた で、 のたいた に、 のたいた に、 のたいた に、 のたいた に、 のたいた のたいた に、 のたいた ののたいた のた のたいた のたいた のたいた のたいた のたいた のたいた のたいた のたいた のたいた のたいた のた のたいた のた のた のた のた のた のた のた のた のた の
	民一キをない、キャトティート			と がごはご押まご洗
な 県 良 去	客慶考して、 「「」」」、 「」」」、 「」」」、 「」」」、 「」」」、 「」」」、 「」」」、 「」」」、 「」」」、 「」」」、 「」」」、 「」」」、 「」」」、 「」」」、 「」」」、 「」」」、 「」」」、 「」、 「	- - - - 写 議案に - に 。 次 - - - - - - - - - -	効果をあげて、	へとりこでであり 「たっこのよう」で、これ 「たっこのよう」で、これ 「たっこの」、 「、 「、 「、 「、 「、 「、 「、 「、 「、 「
した。 国 自 お 定 定 た 、 国 自 れ 思 定 に 、 た 、 、 、 、 、 、 、 、 、 よ 、 、 よ 、 、 よ 、 、 よ 、 、 、 よ 、 、 、 よ 、 、 、 よ 、 、 、 よ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	「一時別では、従来は退職手」に、 「一時別では、従来は退職手」に、 「一日」」 「一一」」 「一」」 「一一」」 「一一」」 「一一」」 「一」」 「一」」 「一一」」 「一一」」 「一一」 「一」」 「一一」 「一一」 「一一」」 「一一」 「一」」 「一一」 「一」」 「一」 「一	です。 です。 です。 かいては、 地	るよう努力 なよう努力	うって、積極 では、発明した結果、 では、条領土 では、条領土 では、条領土 では、条領土 の一般の執行によった、 行のの た結果、、
れる観所も取当しよ係方市 いて業に こをまた翌代上も と子前 けますた猫を四 空东管を基				
昭和40年度決算総括表     昭和40年度一般会計 歳入歳出決算       会計別最終予算額歳入歳出     →       人前別     →       人前別     →       人前別     →       人前日     →       月     →       月     →       日     →       月     →       日     →       月     →       日     →       日     →       日     →       月     →       日<				
一般会計     34億7,052万円     34億2,951万円     34億0,720万円       市     税     14億1,545万円     14億4,610万円       特別会計     ・     ・     ・			税 14億1,545万円 14億4,610万円	

特別会計         国民健康保険         中央児童遊園         食肉処理場         競         輪         中小企業合理化資金貸付         宅地造成	1,325万円 1,974万円 18億8,426万円 18億	意4,298万円 1,312万円 2,076万円 意5,867万円 3,546万円 12万円	1,309万円 1,911万円 18億5,098万円 3,530万円	分担金       使用*       国       県	う交付 金及及び びび び び び び び び び び び び び び び び び び	<b>也料金金入金</b>	1,617万円 1億0,208万円 5億1,910万円 1億2,341万円 8,435万円 3,195万円	1億4,626万円 1,615万円 1億0,494万円 5億1,771万円 1億2,659万円 8,085万円 3,152万円	総民衛労農商土消費		務生生働水工木防空	費費費費費費費費費	4億4,945万円 4億4,124万円 1億6,825万円 1億1,002万円 1億6,878万円 3億0,214万円 7億8,266万円 9,085万円	4億0,967万円 1億6,470万円 1億0,832万円 1億6,738万円 2億9,977万円 7億8,095万円 9,023万円
用品調達		16,207万円	12万円 1億6,207万円 24億7 322万円	繰繰	入越	金金	1億2,210万円 7,917万円	7,917万円	教災公	害	育 復 旧 貴	費費費	6億7,872万円 225万円 9,555万円	6億7,254万円 225万円 9,425万円
合計	60億0,939万円 59億	6,271万円		市	収	入債	5億2,257万円 3億7,840万円		諸子	支	出痛	金費	1億1,727万円 744万円	
※合計額との誤差は1万日	コ以下の端数切捨て分	ナです	Apparte Satesolationedes	合		計	34億7,052万円	34億2,951万円	合	2 20		計	34億7,052万円	34億0,720万円



	提まは千交市(交ま次年 出す市三付役民付しの度	"	第二保育所	三河町一丁 目18-26	100	,,	細井保育所	下細井町 65の2	120	
21か所で2,270人	提出す。 そのでの 現代 して して での での の での の で の の で の の で の で の で の で の で の で の の で の で の で の の で の で の で の で の で の の の で の の の の の で の の の の の の の の の の で の で の の の の の の の の の の の の の	"	第三保育所	自18-26 前代田町51	160	"	芳賀保育所	65の2 鳥取町 822の2	60	-
21,210)	周期 第一での目 一時 一番 一日	"	第四保育所	紅雲町一丁 目 3 -13	(3才未満児30名含む) 130	"	下川淵保育所	稿光路町 659	100	The
5	4	"	総社保育所	総社町総社 1,596	100	"	上陽保育所	西 普 町 1459の4	60	
ま定入でた自入、問い続入す	た三満な前とたが本、だら希	"	元総社保育所	元総社町 100の10	75	私	前橋保育園	昭和町一丁 目15-14	185	*
。、決診所態申所所は人 <u>期</u> 通定の措調請児の調所問	ぞ末三、鬼ろ家く住所い月す	"	石倉保育所	石倉町二丁 目11-3	120	"	岩神保育園	岩神町二丁 目 5 - 12	60	
知の定直査査面別査をは、	定児七、保 あんお あっ 人 よう 目七 孝 合 といまっ 人 ま 所	"	上川淵保育所	and the same and the	100	"	相愛館保育園	日吉町二丁 目18-6	120	
には、範疇になってをすり	中七孝育 といまって、ま所 石気頭が認えまでで加加しての	"	清里保育所	and the second s	60	"	前橋東保育園	天川町 241	90	
お月内当いい法がらるし、	ま年 保は、 ら 青 <sup>10</sup> 、 児間 提月 れ 少 青 れ に 病 童 出 十	"	東 保育所		120	"	孝顕寺保育園	朝日町四丁 目29-23	(3才未満児17名含む) 120	
ら有しるで二時きたのな しま見定り していた。 日間のよう	で 幼園三 る 欠気の じ七 い 児 で 蔵 は 等母 て 日	"	桂萱保育所		120	計	21 カ 所		2,270	×
し予す童め王 の月つ引	まがは未 学るの親 くか			1		1	Arrest Arrest			

